

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】令和7年1月14日(2025.1.14)

【公開番号】特開2023-102403(P2023-102403A)

【公開日】令和5年7月25日(2023.7.25)

【年通号数】公開公報(特許)2023-138

【出願番号】特願2022-2864(P2022-2864)

【国際特許分類】

B 6 2 D 5/04 (2006.01)

10

【F I】

B 6 2 D 5/04

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月27日(2024.12.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0024】

アシスト側ピニオン収容部16は、アシスト側ピニオン軸13を収容する部分であって、ラック収容部14の軸方向他方側部分の円周方向一部に配置されている。具体的には、アシスト側ピニオン収容部16は、ラック収容部14の軸方向他方側部分の上側部(図2の上側部、図3の奥側部)に配置されている。アシスト側ピニオン収容部16は、中心軸を前後方向に向けて配置されており、前後方向の両側の端部が開口した円筒形状を有する。アシスト側ピニオン収容部16の後側の端部開口部は、キャップ21aにより塞がれている。アシスト側ピニオン収容部16の内部空間は、ラック収容部14の内部空間に連通している。アシスト側ピニオン収容部16は、ラック収容部14に対し、ねじれの位置関係に配置されている。本例では、アシスト側ピニオン収容部16の中心軸は、アシスト側ピニオン収容部16の中心軸とラック収容部14の中心軸とに直交する方向である上下方向から見て、ラック収容部14の中心軸に対して直交する方向に配置されている。ただし、本発明を実施する場合には、アシスト側ピニオン収容部の中心軸を、アシスト側ピニオン収容部の中心軸とラック収容部の中心軸とに直交する方向から見て、斜交する方向に配置することもできる。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

40

【0055】

また、本例では、ベルト58の張力を利用して、従動ブーリ57に対し、駆動ブーリ56に近づく方向の力、すなわち、下方に向いた力を付与している。これにより、基端部に従動ブーリ57が固定されたウォーム軸46を、ウォームホイール45の側(図5の下側)に向けて付勢している。この結果、ウォーム軸46を、先端側の軸受49aを中心に揺動させて、ウォーム軸46の外周面に備えられたウォーム歯48を、ウォームホイール45の外周面に備えられたホイール歯47に押し付けるようにしている。そして、ウォーム歯48とホイール歯47との噛合部のバックラッシュを低減し、ウォーム歯48とホイール歯47との噛合部で、異音が発生することを防止している。

50